I 令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

当協会は、昭和23年8月に財団法人埼玉県消防協会として設立され、「消防思想を普及徹底し、消防諸施設の改善と消防活動の強化を図り、もって社会の災害を防止し、人類共通の福祉の増進に寄与すること。」を目的に活動している。

公益法人制度改革関連法の規定に基づき、平成24年4月1日付けをもって、公益財団法人埼玉県消防協会へ移行した。この移行と共に公益性をより 高め、県民の更なる安心・安全の確保を図り、福祉の増進に寄与することが 求められている。

当協会の事業の内容は、地域の消防・防災活動の中核的な担い手である消防団員及び消防職員への支援を通じ、地域の災害の防止に貢献するための事業を行っている。

しかし、令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止の ため事業の中止、縮小及び事業内容の変更を余儀なくされ、その概要は次の とおりである。

I 公益目的事業

- 1 消防操法大会事業
 - (1) 第32回埼玉県消防操法大会 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催中止とした。
 - (2) 第28回全国消防操法大会 令和3年10月29日(金)に千葉県消防学校において開催を予定 していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となる。

2 表彰事業

(1) 第73回埼玉県消防協会定例表彰式

令和3年10月18日(月)埼玉会館小ホールを会場として、式典を 行う予定であったが、コロナ禍のため式典は行わず、消防団、消防団 員及び企業など延べ59団体、2,543人を表彰した。

(2) 死亡特例表彰

在職中に死亡した消防団員11人に死亡特例表彰を授与した。

3 慰霊祭事業

埼玉県消防協会消防殉職殉難者慰霊祭

令和3年11月15日(月)埼玉県防災学習センター北側慰霊碑前を会場とし、コロナ禍のため規模を縮小し、消防殉職・殉難者84柱の御霊に対する慰霊祭を挙行し、遺族及び消防関係者19人が参列した。

4 研修事業

(1) 消防団員基礎教育

埼玉県消防学校が行う教育訓練の現地研修修了者(概ね入団3年 以内)で新入消防団員を対象とした基礎教育研修を支援した。

回数	実 施 日	受講者数 (女性数)	
第 1 回	令和3年11月 6日(土)	83人(2人)	
第 2 回	令和3年11月13日(土)	81人(1人)	
第 3 回	令和3年12月11日(土)	112人(3人)	
第 4 回	令和4年 2月 5日(土)	年度内開催中止	
第 5 回	令和4年 3月 6日(日)	年度内開催中止	
	合 計	276人(6人)	

(2) 消防団員幹部教育(初級幹部科·指揮幹部科)

埼玉県消防学校が行う教育訓練として、消防団幹部を対象とした初級幹部科・指揮幹部科(現場指揮課程・分団指揮課程)の研修を支援した。

種	<u>;</u> 另门	実 施 日	受講者数(女性数)
初:	級幹部科	令和3年11月21日(日)	122人(1人)
指揮	現 場 指揮課程	令和3年12月3日(金) 12月4日(土)	45人(0人)
幹部科	分 団 指揮課程	令和3年12月18日(土)	78人(1人)
	合	計	245人(2人)

(3) 住宅用火災警報器設置推進指導員研修

埼玉県防災学習センターにおいて、消防団員を対象に住宅用火災警報器の設置率向上を目的とした研修を予定していたが、コロナ禍のためWeb による研修に変更し、埼玉東部消防組合消防局の江原敏明氏を講師に迎え実施した。

実施日	時間	受講場所	受講者数
令和3年9月	10時00分	古如 泌吐田東致民	1 0 4 1
25日(土)	~11時30分	支部、消防団事務局	194人

(4) 女性消防団員研修

埼玉県消防学校において、女性消防団員を対象に災害避難所の運営を目的としたHUG訓練を予定していたが、コロナ禍のためWeb による研修に変更し、防災士の田中緑氏を講師に迎え、「地域防災リーダーとしての役割」を演題とし、研修を実施した。

実施日	時間	受講場所	受講者数
令和3年10月	10時00分	支部、消防団事務局	1691
30日(土)	~11時30分	又は参加者自宅	162人

(5) 日本消防協会研修

日本消防協会主催による各都道府県から推薦された消防団幹部及 び幹部候補生を対象とした特別研修に、各ブロックから推薦のあった 団員を派遣予定していたが、コロナ禍のため研修会が開催中止となり、 同研修が映像配信で実施され、3名の団員が参加した。

種 別	実 施 日	受講者数	
消防団幹部特別研修	令和4年1月20日(木)	開催中止	
	1月21日(金)		
	令和4年2月3日(木)	開催中止	
消防団幹部候補	2月4日(金)	用准十二	
中央特別研修	令和4年2月17日(木)	開催中止	
	2月18日(金)	用催 十	

(6) 全国女性消防団員活性化事業

令和3年11月9日(火)徳島市において開催予定であった「第26回全国女性消防団員活性化徳島大会」は、コロナ禍のため開催中止となる。

(7) 消防団長等幹部研修会

消防団長等を対象に日本消防協会の出前講座によりオンライン研

修を実施した。

講師は、広島県呉市消防団長新宅修宗氏で、広島県呉市からWebにより「災害対応事例と消防団活動」として「平成30年7月豪雨における消防団活動」について講演をした。

実施日	時 間	受講場所	受講者数
令和4年	10時00分	支部、消防団事務局	0.1
2月19日(土)	~11時30分	又は受講者自宅	91人

※受講者は、消防団長等及び事務担当者を含む。

5 普及啓発·活性化事業等

(1) 火災予防啓発活動

全日本消防人共済会の依頼を受け、県内小中学校あてに防火ポスター及び防火防災作文の募集を行い、防火ポスターでは応募のあった9点から2点、防災作文では、応募のあった4点から2点をそれぞれ推薦した。

その結果、防火ポスターで三郷市立瑞木小学校5年生 早見江梨花 さんの作品が最優秀賞、鶴ヶ島市立第二小学校4年生 遠藤晋弥さん が佳作にそれぞれ選ばれた。

なお、最優秀賞の作品は、全日本消防人共済会の防火ポスターと して全国に配布され、県内は1,135枚を消防団等に配布した。

(2) 埼玉県防災講演会

埼玉県防災学習センターの共催により、県内1会場において感染防止対策を図り、災害リスク評価研究所代表の松島康生氏を講師に迎え、消防団員等を対象に実施した。

回 数	開催場所	開催予定日	受講者数
第1回	国立女性教育会館	令和3年	117人
另 I 凹 	(嵐山町)	10月17日(日)	117人
第2回	パストラルかぞ	令和4年	rta da
男 ∠凹	(加須市)	2月 6日(日)	中止

(3) 消防団員確保・活性化事業の推進

普及啓発・活性化及び団員の確保事業のとして、実施した各ブロックに対し10万円を上限として助成した。

助成金額 4地区ブロック 合計387,747円

Ⅱ 収益事業等

1 福利厚生事業

(1) 死亡弔慰金の交付

在職中に死亡した消防団員14人、消防職員2人の計16人の遺族 に対して弔慰金を交付した。

(2) 育英支援金の給付

育英支援規程による、殉職消防職団員の遺児に対する育英支援金の 給付を行っている。令和3年度は、該当なしであった。

(3) 消防団員等福祉共済

公益財団法人日本消防協会による、消防職団員を対象とした消防団 員等福祉共済の加入給付手続を行っている。

令和3年度は、遺族援護金12件、障害見舞金0件、生活援護金1件、入院見舞金56件、合計69件で総額15,697,000円を給付した。

(4) 消防団員健康増進事業

消防団員の健康増進等を支援するため公益財団法人日本消防協会の消防団員等福祉共済事業による助成を受け、健康増進器具等の経費の一部を助成した。

助成金額 64消防団等 1,201,218円

(5) 消防個人年金等事業

ア 消防個人年金への加入促進

消防職団員等がゆとりある将来、安定した将来に備えるため、 公益財団法人日本消防協会が実施する消防個人年金制度の加入促 進を図った。

イ 火災共済制度の加入促進

消防職団員等の不慮の災害による損害を補填するため、生活協同組合全日本消防人共済会が実施する火災共済制度の加入促進を図った。

Ⅲ 役職員に関する事項(令和4年3月31日現在)

1 役員数

役	職	名	常	勤	非常勤	備考
会		長		0	1名	代表理事
副	会	長		0	4名	理事

理。	1 名	17名	専務理事1名、常務理事1名含
監	0	3名	会計管理者1名、団長2名
評 議 貞	0	16名	団長
計	1名	4 1 名	

- (注) 同一親族等特別な関係にある者の理事等の役員に占める割合0%
 - 2 事務局職員数

·常務理事兼事務局長 (常勤) 1名

・次 長 (常勤) 1名

• 主 査 (常勤) 1名

・書記 (非常勤) 1名

3 組 織

(1) 役 員

会 長(1) 森田耕一(団長)

副会長(4) 岡村好一(団長)、浅井武志(団長)、髙橋光晴(団長)、金久保繁(団長)

理 事(18) 専務理事(1)、常務理事(1)

埼玉県危機管理防災部長、市長会(2)、町村会(2)

消防長会(1)、団長(10)

監事(3)市会計管理者(1)、団長(2)

評議員(16) 団長 (16)

4 その他

附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。